

【ご参考】

下記は 2023 年 10 月 13 日に NY で配信したリリースの概略部分の参考和訳です。本文と原文の内容に相違がある場合は原文が優先します。原文リリースは[こちら](#)からご覧いただけます。

JP モルガン・チェース、2023 年第 3 四半期決算¹を発表

2023 年第 3 四半期:純利益 132 億ドル (EPS 4.33 ドル)

- 株主資本利益率(ROE)18%、有形自己資本利益率(ROTCE)²22%
- 普通株式等 Tier1 比率³ 標準的手法 14.3% 先進的手法 14.5% 総損失吸収力 (TLAC)³ 4,960 億ドル
- Std. RWA (リスクアセット標準的手法)³ 1.7 兆ドル、手元流動性⁴ 1.4 兆ドル、期中平均ローン残高 1.3 兆ドル

2023 年第 3 四半期(以下、当期)の業績概要

会社全体

- 当期収益は 399 億ドル、管理ベースでは 407 億ドル² (6.69 億ドルの投資有価証券関連損失を含む)
- クレジットコストは 14 億ドル(15 億ドルの貸倒償却および 1.13 億ドルの貸倒引当金戻入額含む)
- 期中平均ローン残高は 17%増、期中平均預金残高は 4%減

CCB: コンシューマー&コミュニティ・バンキング (当期 ROE: 41%)

- 期中平均預金残高は 3%減、顧客投資資産は 43%増
- 期中平均ローン残高は前年比 27%増/前四半期比 9%増、カード貸倒損失率 2.49%
- デビットおよびクレジットカード販売取扱高⁵は 8%増
- モバイルカスタマー数⁶は 9%増

CIB: コーポレート&インベストメント・バンク (当期 ROE: 11%)

- グローバル投資銀行業務の手数料収入は 8.6%のウォレット・シェア第 3 四半期累計で、業界トップを維持。
- フィクスト・インカム・マーケットツ収益は 1%増、エクイティ・マーケットツ収益は 10%減で、マーケットツ業務収益は 3%減の 66 億ドル

CB: コマーシャル・バンキング (当期 ROE: 25%)

- インベストメント・バンキング総収入⁷は 8%増の 8.21 億ドル
- 期中平均ローン残高は前年比 24%増/前四半期比 4%増、期中平均預金残高は 7%減

AWM: アセット・ウェルスマネジメント (当期 ROE: 32%)

- 運用資産残高(AUM)は 22%増の 3.2 兆ドル
- 期中平均ローン残高は前年比 3%増/前四半期比 2%増、期中平均預金残高は 20%減

【ご参考】

特記事項

- 以下の項目は当期(2023年第3四半期)の業績に含まれる。
 - ・ コーポレートにおいて、6.69億ドルの投資有価証券関連損失を計上(1株当たり利益(EPS)0.17ドル減)
 - ・ リーガル関連費用⁸として、6.65億ドルを計上(1株当たり利益(EPS)0.22ドル減)

資本還元

- 普通株式配当 31億ドル、1株当たり 1.05ドル
- 自社株買い純総額⁹は 20億ドル
- 総還元性向(LTM)^{9,10} 35%

盤石な財務基盤

- 1株当たり純資産 15%増の 100.30ドル、1株当たり有形自己資本²は前年比 17%増の 82.04ドル
- バーゼル III 普通株式等 Tier1 自己資本³は 2,420億ドル、同比率は標準的手法³ 14.3%、先進的手法³ 14.5%
- 全社ベース SLR(補完的レバレッジ比率)は 6.0%

営業レバレッジ

- 当期費用は 218億ドル、オーバーヘッド比率は 55%、管理ベースオーバーヘッド比率²は 53%

お客様や地域社会のために

- 2023年第3四半期累計の融資および資本調達¹¹実施額は 1.7兆ドル
 - 個人のお客様向け融資 1,820億ドル
 - 米国のスモール・ビジネス向け融資 270億ドル
 - 法人向け融資 7,750億ドル
 - 法人および非米国政府機関向けに実施した資本調達 7,090億ドル
 - 非営利団体および州、自治体、病院、大学を含む米国政府機関向けに実施した融資・資本調達は 370億ドル

-
1. 記載されている増減率は、特に注記のない限り前年同期比です。
 2. Non-GAAP 財務数値(管理ベースを含む)に関する注記は、英文リリース 6 頁を参照。追加注記は 7 頁を参照。
 3. 概算値。CECL資本経過措置規定を含む。2022年1月1日以降、普通株式等 Tier1(「CET1」)自己資本 29 億ドルはその後 3 年間にわたって、毎年 25%ずつ減価されます。2023年9月30日時点では、CET1自己資本と TLAC は 14 億ドル残存しています。追加情報については、2023年6月30日に終了した四半期の Form 10 Q の四半期報告書 48~53 ページ、2022年の Form 10 K の 86~96 ページの キャピタル・リスク・マネジメントの項目をご参照ください。
 4. 概算値。手元流動性には、①適格流動資産(「HQLA」)の期末残高が、流動性カバレッジ比率(「LCR」)規制の下で想定される所定のヘアカット(減額)分を除き、含まれています。HQLA は、以下で構成されています。a) LCR 規制が適用される JP モルガン・チェース・アンド・カンパニーにおける HQLA、b)ノンバンク関係会社に移転できないため、JP モルガン・チェース・アンド・カンパニーの LCR からは除外されている JP モルガン・チェース銀行における余剰流動性の一部として含まれる HQLA 適格証券。また手元流動性には②市場性のある有価証券(株式や債券)の期末残高も含まれています。一方、③連邦住宅貸付銀行(「FHLB」)からの借入余力や連邦準備銀行(FRB)の貸出は含まれていません。流動性リスク管理の項目に関する追加情報については、2023年6月30日に終了した四半期の Form 10 Q の当社四半期報告書の 54~61 ページおよび 2022年の Form 10 K の報告書の 97~104 ページをご参照ください。
 5. コマーシャルカードは除外
 6. 過去 90 日以内にモバイル・プラットフォームにログインしたユーザー数を指します。2023年9月30日時点の数字は、First Republic を含まない。
 7. 同収入は CB と CIB セグメント間でレベニューシェアされている収入を含んでおり、すなわち、CB セグメント顧客に対して CIB セグメントのインベストメント・バンキング部門内、マーケッツ部門内を通して販売されるプロダクトを含みます。同収入は債券関連、株式関連の商品双方を含みます。追加情報については、2022年の Form 10 K の報告書の 61 ページ、レベニューシェアの項目をご参照ください。
 8. 主には、CIB 部門に関連する特定事案の規制対応に伴う法的費用となっています。当社は、政府が取引執行場所の一覧を作成するプロセ

【ご参考】

ス、取引の調査・監視プラットフォームに提供される関連データが完全である点を確認するプロセスに関連して、調査・検査に協力していません。当社はこれらの調査・検査に協力し、改善措置も講じています。また、指摘された不備の修正を施すことにコミットしています。特定の米国規制当局は、解決のために、民事上の罰金を支払うことを、そのほかのことと合せて提案しています。当社は、現在、これらの米国規制当局と解決に向けた協議に注力しています。そして、解決策の潜在的影響について、検証しています。しかし、これらの協議が解決策に関する合意につながる保証はありません。追加情報については、2023年6月30日に終了した四半期の Form 10 Q の当社四半期報告書の 188~191 ページの Note 26 Litigation (訴訟関連)をご参照ください。

9. 従業員保有株分の影響を含みます。
10. 過去 12 ヶ月 (LTM)
11. 顧客向け与信枠はローンおよびコミットメントを含む新規および継続更新された与信枠を指します。